



ROCK PAINT

Technical Data Sheet

TDS NO. OR021320-①

ORD/APD

1 / 5

その他周辺剤 Ver.1

02/13/20

For Professional Use Only

## ハイロック 反応促進剤

2液ウレタン樹脂塗料用硬化反応促進剤

### 商品概要・用途

ハイロック反応促進剤は、冬期低温時に指定の配合可能塗料に規定量配合することにより、塗料の反応硬化を速め可使時間を短くすることで、塗膜内部からの反応硬化を促進させるための添加剤です。  
注意事項に留意しご使用ください。

### 品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

073-0007-68 ハイロック 反応促進剤

300g×6本



### 特長

- ・配合可能塗料の可使時間を短縮します。
- ・冬期低温時における塗料の反応硬化を速め、乾燥時間の短縮に寄与します。

### 配合可能塗料



- ・073-8\*\*\* ハイロックDX 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・073-8150 ハイロックDX クリヤー
- ・088-\*\*\*\* パナロック 1CS(1コートソリッドカラー)

### 注意事項



- ・本書記載の配合可能塗料の主剤にのみ添加し、添加率の上限値を超えない範囲で配合して使用してください。
- ・硬化剤には添加しないでください。硬化剤に反応促進剤(速乾型)を添加して混合すると、自己反応硬化を起こして硬化剤単独で硬化し使用できなくなります。

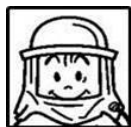
### 保管条件 / 貯蔵安定期間



5～40℃

3年間 (未開封時)

### 保護具/安全衛生



- ・適切な安全保護具を着装してください。
- ・詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

## ハイロック 反応促進剤

For Professional Use Only

## 使用方法



ハイロック反応促進剤は主剤に対して添加することにより、塗料の反応硬化時間を早くするための添加剤です。

- ・ハイロック反応促進剤は、塗装する直前に配合可能塗料の主剤100に対し、添加率の上限値を超えない範囲で配合します。その後十分に攪拌してから、主剤専用の硬化剤と希釈シンナーを配合し塗装してください。
- ※ハイロック反応促進剤の添加率は、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
- ・気温30℃以上の環境下で、073L ハイロックDXに使用する場合は1%を超える添加量での使用はできません。
- ・配合は重量比です。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- ・メタリック/パールカラーにはハイロック反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・ご使用後は注ぎ口のまわりをよく拭き取り、速やかに密栓し冷暗所にて保管してください。
- ・本品は補助剤です。塗料の硬化・蒸発速度の調整は気温に応じた硬化剤・シンナーを選定した上で、本品を併用してください。



| 配合可能塗料<br>主剤 100 |                           |
|------------------|---------------------------|
| 073-8***         | ハイロックDX 1CS (1コートソリッドカラー) |
| 073-8150         | ハイロックDX クリヤー              |
| 088-****         | パナロック 1CS (1コートソリッドカラー)   |

:

051-0007 ハイロック反応促進剤  
添加率

0~3% ※1

100 }  
※1 } 100 }  
          ※2 }  
                  ※3

配合可能塗料 主剤 各種

073-0007 ハイロック 反応促進剤

配合可能塗料 硬化剤 各種

配合可能塗料 希釈シンナー 各種

※1 上記、073-0007 ハイロック反応促進剤の添加率を参照ください。

※2 硬化剤の配合率は、各主剤のTDSを参照してください。

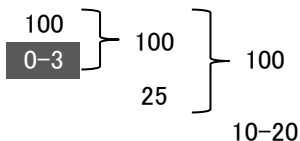
※3 標準希釈率は、各主剤のTDSを参照してください。

## ハイロック 反応促進剤

For Professional Use Only

073L ハイロックDX 1CS [ 073-8204 ホワイト使用 ]

【H=時間】



073-8204 ホワイト 主剤

073-0007 ハイロック 反応促進剤

073-8110 / 8140 ハイロックDX 硬化剤 / 硬化剤(速乾型)

016-27\*\* ハイロックシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《 膜厚50 $\mu$ m 》

| 硬化剤             | 073-8110 ハイロックDX 硬化剤 |      |      |      |      |      |      |      |      |
|-----------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 項目              | 10℃                  |      |      | 20℃  |      |      | 30℃  |      | 60℃  |
| 073-0007<br>添加率 | 0.0%                 | 1.0% | 3.0% | 0.0% | 1.0% | 3.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% |
| 可使時間            | 8H                   | 5H   | 2H   | 6H   | 3H   | 1H   | 4H   | 1H   | —    |
| 指触乾燥            | 25分                  | 23分  | 20分  | 15分  | 13分  | 10分  | 10分  | 7分   | —    |
| 中研ぎ可能           |                      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| テーピング可能         | 30H                  | 20H  | 15H  | 18H  | 13H  | 6H   | 13H  | 8H   | 30分  |
| コンパウンド可能        | 40H                  | 32H  | 24H  | 22H  | 16H  | 8H   | 16H  | 12H  | 40分  |
| 屋外放置可能          |                      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 耐ガソリン性          | 60H                  | 48H  | 36H  | 48H  | 36H  | 24H  | 36H  | 24H  | 60分  |

《 膜厚50 $\mu$ m 》

| 硬化剤             | 073-8140 ハイロックDX 硬化剤(速乾型) |      |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|---------------------------|------|--|--|--|--|--|--|--|
| 項目              | 10℃                       |      |  |  |  |  |  |  |  |
| 073-0007<br>添加率 | 0.0%                      | 1.0% |  |  |  |  |  |  |  |
| 可使時間            | 3H                        | 2H   |  |  |  |  |  |  |  |
| 指触乾燥            | 20分                       | 18分  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中研ぎ可能           |                           |      |  |  |  |  |  |  |  |
| テーピング可能         | 26H                       | 18H  |  |  |  |  |  |  |  |
| コンパウンド可能        | 36H                       | 28H  |  |  |  |  |  |  |  |
| 屋外放置可能          |                           |      |  |  |  |  |  |  |  |
| 耐ガソリン性          | 48H                       | 36H  |  |  |  |  |  |  |  |

## 注意事項



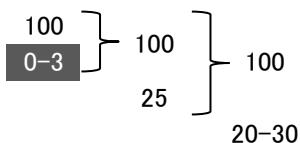
- ・073-0007 ハイロック 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。  
添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
- ・気温30℃以上の環境下で、073L ハイロックDXに使用する場合は1%を超える添加量での使用はできません。極端に可使時間が短くなったり、トップコートクリヤーとの層間剥離や仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。  
必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- ・メタリック/パールカラーベースには073-0007 ハイロック 反応促進剤を使用しないでください。  
トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。

## ハイロック 反応促進剤

For Professional Use Only

073L ハイロックDX [ 073-8150 クリヤー ]

【H=時間】



073-8150 クリヤー 主剤

073-0007 ハイロック 反応促進剤

073-8110 / 8140 ハイロックDX 硬化剤 / 硬化剤(速乾型)

016-27\*\* ハイロックシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《 膜厚40 μm 》

| 硬化剤          | 073-8110 ハイロックDX 硬化剤 |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 項目           | 10℃                  |      |      | 20℃  |      |      | 30℃  |      | 60℃  |
| 073-0007 添加率 | 0.0%                 | 1.0% | 3.0% | 0.0% | 1.0% | 3.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% |
| 可使時間         | 7H                   | 4H   | 2H   | 5H   | 2.5H | 1H   | 3H   | 1H   | —    |
| 指触乾燥         | 25分                  | 22分  | 20分  | 15分  | 12分  | 10分  | 12分  | 9分   | —    |
| 中研ぎ可能        |                      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| テーピング可能      | 40H                  | 24H  | 15H  | 18H  | 14H  | 6H   | 12H  | 8H   | 30分  |
| コンパウンド可能     | 42H                  | 32H  | 24H  | 22H  | 18H  | 8H   | 16H  | 12H  | 35分  |
| 屋外放置可能       | 48H                  | 36H  |      | 24H  |      |      | 18H  |      | 40分  |
| 耐ガソリン性       | 60H                  | 48H  | 36H  | 48H  | 36H  | 24H  | 36H  | 24H  | 60分  |

《 膜厚40 μm 》

| 硬化剤             | 073-8140 ハイロックDX 硬化剤(速乾型) |      |      |
|-----------------|---------------------------|------|------|
| 項目              | 10℃                       |      |      |
| 073-0007<br>添加率 | 0.0%                      | 1.0% | 3.0% |
| 可使時間            | 5H                        | 3H   | 1H   |
| 指触乾燥            | 20分                       | 18分  | 15分  |
| 中研ぎ可能           |                           |      |      |
| テーピング可能         | 26H                       | 18H  | 12H  |
| コンパウンド可能        | 36H                       | 28H  | 18H  |
| 屋外放置可能          | 36H                       | 30H  | 20H  |
| 耐ガソリン性          | 48H                       | 36H  | 24H  |

## 注意事項



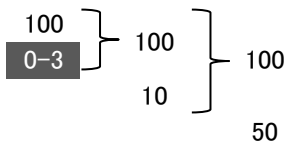
- ・073-0007 ハイロック 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。  
添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
- ・気温30℃以上の環境下で、073L ハイロックDXに使用する場合は1%を超える添加量での使用はできません。極端に可使時間が短くなったり、トップコートクリヤーとの層間剥離や仕上り外観品質の低下などの原因となります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。  
必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- ・メタリック/パールカラーベースには073-0007 ハイロック 反応促進剤を使用しないでください。  
トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。

## ハイロック 反応促進剤

For Professional Use Only

088L パナロック 1CS [ 088-0204 パナロック ホワイト使用 ]

【H=時間】



088-0204 パナロック ホワイト 主剤

073-0007 ハイロック 反応促進剤

088-0110 パナロック 硬化剤

016-F77\* エコマルチシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《 膜厚60 μm 》

| 項目              | 10℃ |     |      |     | 20℃ |      |      |      | 25℃ |      |      |    |
|-----------------|-----|-----|------|-----|-----|------|------|------|-----|------|------|----|
| 051-0102<br>添加率 | 0%  | 1%  | 2%   | 3%  | 0%  | 1%   | 2%   | 3%   | 0%  | 1%   | 2%   | 3% |
| 可使時間            | 8H  | 6H  | 4H   | 3H  | 5H  | 3H   | 2H   | 1.5H | 3H  | 2H   | 1.5H | 1H |
| 指触乾燥            | 8分  | 6分  | 5.5分 | 5分  | 4分  | 4分   | 3.5分 | 3分   | 3分  | 3分   | 2.5分 | 2分 |
| 中研ぎ可能           | 40分 | 25分 | 20分  | 15分 | 20分 | 16分  | 12分  | 8分   | 15分 | 10分  | 8分   | 6分 |
| コンパウンド可能        | 6H  | 4H  | 3H   | 2H  | 3H  | 2.5H | 2H   | 1.5H | 2H  | 1.5H | 1.5H | 1H |
| テーピング可能         | 20H | 14H | 10H  | 7H  | 12H | 8H   | 6H   | 5H   | 6H  | 5H   | 4H   | 3H |

## 参考

## ■硬化剤比較 088-0110 / 088-0140

《 膜厚60 μm 》

| 主剤       | 088-0204 パナロック ホワイト      |                              |                          |                              |                          |                              |
|----------|--------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 項目       | 10℃                      |                              | 20℃                      |                              | 25℃                      |                              |
| 硬化剤      | 088-0110<br>パナロック<br>硬化剤 | 088-0140<br>パナロック 硬化剤<br>速乾型 | 088-0110<br>パナロック<br>硬化剤 | 088-0140<br>パナロック 硬化剤<br>速乾型 | 088-0110<br>パナロック<br>硬化剤 | 088-0140<br>パナロック 硬化剤<br>速乾型 |
| 可使時間     | 8H                       |                              | 5H                       |                              | 3H                       |                              |
| 指触乾燥     | 8分                       |                              | 4分                       |                              | 3分                       |                              |
| 中研ぎ可能    | 40分                      |                              | 20分                      |                              | 15分                      |                              |
| コンパウンド可能 | 6H                       |                              | 3H                       |                              | 2H                       |                              |
| テーピング可能  | 20H                      |                              | 12H                      |                              | 6H                       |                              |

## 注意事項



- ・073-0007 ハイロック 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。  
添加率の上限を超えた場合や気温30℃以上の環境下では使用はできません。  
極端に可使時間が短くなったり、本来の仕上り外観品質(肌)が得られません。  
添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。  
必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- ・メタリック/パールカラーベースには073-0007 ハイロック 反応促進剤を使用しないでください。  
トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。

■ Copyright © 2020 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。

本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。

実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。

本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。